

オイスカ浜松国際高等学校

マリンスポーツ部



高校生ボランティア・アワード2024

「マリンスポーツの聖地」自然豊かな**浜松・浜名湖**の魅力を発信！

浜名湖マリンスポーツの課題

①水難事故が多いことで知られる静岡県・浜名湖

浜名湖は、開口部である今切口から、淡水と海水が合流し潮の流れが複雑となる全国の「汽水湖」の中でも突出して事故が多いことで知られています。

②体験格差解消活動の環境がとて少ない

③観光産業の主要産業化へ

人口減少や内需縮小等の環境変化に対応し、持続的発展をとげるため「浜名湖」を中心とした観光資源を世界レベルへ。

課題解決のために私たちにできること

海上保安庁御前崎署 × 湖西消防署 × 浜松ライフセービング協会 × 静岡県三ヶ日青年の家



セイラビリティな浜名湖へ



セイラビリティ活動とは、sailingとabilityが一つになった造語で、今や「Sailing For Everyone誰もが楽しめるセーリング」として、年齢、性別、障がいの有無に関係なく世界32ヶ国に広まっています。



浜名湖の安全守り

小中高生8人「海洋少年団」がパトロール ライフジャケット着用呼びかけ

浜名湖海洋少年団は22日、浜名湖上安全パトロールを実施した。団員の小中高生8人が3艇のパトロール艇に乗り込み、浜名湖の利用者に安全航行やライフジャケット着用の大切さを訴えた。浜松市北区三ヶ日町の県立三ヶ日青年の家で出発式を開き、リーダー団員の中村桜雅さん(16)＝オイスカ浜松国際高2年＝が「命の尊さ、海の危険さなど学んできたことを生かす」と決意を述べた。大崎半島や弁天島海水浴場周辺などを巡回して「全国で水の事故が多発しています。大切な命を守るためにライフジャケットの着用をお願いします」などと呼びかけた。同青年の家、御前崎海上保安署、関東小型船安全協会、浜松ライフセービングクラブが協力した。(細江支局・大石真聖)

安全技術研修



水辺のヒーロー誕生へ



安全教室・体験会を開催



「浮いて待て」実演

B&G浜松海洋クラブ 認定へ 2023.10.6



地域に共感される存在を目指します
自然の解放感・気持ち良さ
楽しさを感じてほしい

- ・初級マリンスポーツ指導者講習会(県教育委員会主催) 修了
- ・静岡県三ヶ日青年の家「海洋指導員」認定
- ・ライフセービング・サポーター講習会 修了証

海岸湖岸保全活動



海岸功労者表彰受賞



2010年6月18日 静岡県三ヶ日青年の家 転覆事故を忘れない

- ・ご遺族 西野さんの言葉 決して忘れることなく「合宿事故のことを忘れずに、どうすることが子どもを守ることにつながるかを考え、それを安全確保の判断をするときに役立ててほしい。」
- ・「B&G浜松海洋クラブ」発足 海洋教育を若い力で推進
- ・「浜名湖海洋少年団」リーダー団員として子どもたちへ指導
- ・「浜松市ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」加盟



■主な協働団体
静岡県三ヶ日青年の家、御前崎海上保安署、浜名漁協、富士マリーナ、ウインドサーフィンプロショップNUTS、ブライドセーリング協会東海支部、視覚障がい者団体・六星ウィズ、浜松ライフセービングクラブ、ボーイスカウト、豊橋子供の命を守る会、地元視覚特別支援学校、静岡県、浜松市、湖西市